



Welina奮闘レポート!

株式会社Welinaは大阪府から要請を受けたコロナウィルス感染者の軽症者受け入れに続き、現在はオミクロン株濃厚接触者待機施設として中之島Westで支援を行っています。感染者や濃厚接触者を受け入れ、安心して療養生活を過ごしてもらえるようにサポートしている様子をご紹介します。一人ひとりが奮闘しているWelinaの仲間へ、ぜひエールを送りましょう!



株式会社Welina マネージャー
野澤 淑江さん



株式会社Welina 統括マネージャー
石田 恵治さん



株式会社Welina 取締役
高田 知典さん

現在のWelinaの状況について
石田さん 現在、オミクロン株濃厚接触者が中之島Westに49名、デルタ株感染軽症者が中之島Westに4名、それぞれ入所しています。(12月24日現在)

高田さん 一時期は高齢者や若者の人数が多かったときもありましたが、感染者が減少傾向にあり、現在は年齢に関係なく受け入れ体制が整っています。

スタッフの対策について

石田さん 基本的な対策の徹底と、入念な消毒を心がけています。入所者がいる場所を「レッドゾーン」と呼んでおり、エレベーターやホテルのロビー半分をゾーン分けしています。食事の提供や各書類を置くためにレッドゾーンに入った際には、すぐに消毒を行っています。たとえ入所者との直接的な接触がなくても、消毒を至るところに配置し、その場で消毒できるようにしています。常に感染のリスクを負っているのだという意識を一人ひとりが持ち、状況がピーク時と比べて落ち着いた今でも、気を抜かないよう注意しています。



野澤さん 中之島Westには、濃厚接触者と判断された陰性の状態で入所されます。いずれ陽性反応がでる可能性もあるので、看護師が食事を届けにいたり、時間をずらしてコインランドリーを利用していたりすると、入居者同士が接触しないように工夫しています。あとは、「基本の徹底」を大切にしています。出勤・退勤時の検温、手洗い、消毒。特に、手に触れる場所(机・パソコン・ドアノブなど)はこまめに入念に消毒しています。ソーシャルディスタンスが基本なので、入所者到着時は、適切な距離を保って案内しています。

高田さん ホテル内へ入るときには毎回検温と消毒を実施しています。入所者の方のエリアへは、医療従事者と同様の防護服を着用しなければなりません。直接会話することはありませんが、清掃やゴミ出しなど日々の業務を行う際には、必ず防護服を着ています。

業務の流れ

高田さん フロント業務は、入所する方への説明や朝・昼・晩のお弁当手配と配布、生活に必要な水分の準備などを行っています。また血中酸素濃度を測定する機器の使用方法については、しっかりと時間をとって説明するようにしています。お弁当は外注ですが、夕食のみメニュー選択が可能です。ポリユ



ムのあるものと野菜中心のもの、2種類のお弁当から選んでいただいています。
石田さん 朝8時に朝食、お昼に昼食、6時に夕食を提供します。また、午前9時には看護師の皆さんとミーティングを行い、入所者の状態に関する情報を共有します。体調の変化によって退所日、または入院の必要性などを共有します。また入所、退所のための手続きも随時行っています。

野澤さんの1日の流れ

- 8:00 朝食提供
- 9:00 看護師とミーティング その後は以下の業務を行う
 - 入所/退所のご案内(レッドゾーンとグリーンゾーンで仕切られているため、窓越しや内線電話で説明をしている。ホテルの利用方法について細かく話している。退所時には「自己管理に気をつけてね」と声がけをする)
- 12:00 昼食提供
 - 在庫管理
- 夕方 大阪府の危機管理室に連絡(当日の入所・退所人数確認、現状報告、明日の受け入れ人数確認)
- 18:00 夕食提供

特に大変なこと

石田さん 夏場の部屋の清掃にはとても苦労しました。第5波が来た7月〜8月は約200人の入所

者を受け入れており、1日に30〜40人が入退所する状況が続いていました。当時、清掃担当者は私を含めて6名。1人で10部屋ほどを担当し、防護服を着て汗だくになりながら清掃にあたっていました。サウナスーツのような密閉された生地の防護服を着用して行う作業はとても大変で、気がついていたら体重が2〜3kgも減っていました。今はリバウンドして元に戻りましたが(笑)

高田さん 2週間もの間、ホテルで生活しなければならぬ入所者の方には大きなストレスがかかっています。イライラしている人も少なくありません。お弁当は棚に配置し、館内放送で取りに来ていただきますが、少しでも気が落ち着くような対応を心がけています。

野澤さん レッドゾーンに入ることでできないことで直接手助け



ができなかったり、体調が悪くなったときに駆けつけたりすることができず、見守ることしかできないという歯がゆさがあります。あるご夫婦のお話なのですが、旦那様が先に入所され、あとから濃厚接触者の奥様も入所してこられました。その後、旦那様の体調が悪くなって病院に移動したものの、お亡くなりになられたことを伺いました。私は奥様と内線電話をし、精一杯の励ましの言葉をかけさせていただきました。直接何かできたわけではありませんが、少しでも前向きになつてもらいたいと思いました。

利用者からの感謝の言葉

高田さん お手紙を残してくる入居所者の方が多く、「自宅に1人

9月以降に入社された\\ NEW FACE! //

新入社員をご紹介!

9月入社



Welina
フロントスタッフ
みなみりょうご
南 亮吾さん



Welina
警備スタッフ
たさい くにあき
瀧井 邦晃さん



Welina
フロントスタッフ
にしはた あつし
西畑 敦さん



ユウテック
クレーンオペレーター
おざわ こうたろう
小澤 弘太郎さん



tricoGym
トレーナー
さがわ こうた
佐川 広太さん



高田クレーン興業
クレーンオペレーター
やなせ ゆうじ
梁瀬 祐二さん

10月入社



高田クレーン興業
クレーンオペレーター
すみだ よしたか
角田 佳隆さん



高田クレーン興業
クレーンオペレーター
ふくだ てるひさ
福田 晃久さん



高田クレーン興業
クレーンオペレーター
まさやま かずと
牧山 和人さん



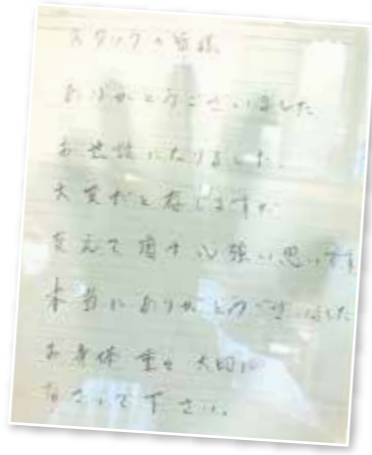
高田クレーン興業
クレーンオペレーター
むらかみ あみ
村上 愛美さん



高田クレーン興業
クレーンオペレーター
やぶがき やすお
藪垣 康夫さん

11月入社

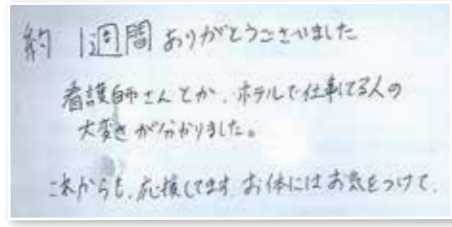
12月入社



言葉をいただいたときには、スタッフ全員が嬉しい気持ちになりました。また頑張ろうと思えた出来事です。

野澤さん「滞在中快適に過ごせました。ありがとう」という言葉が嬉しく、その言葉だけで「やってきて良かったな」と救われます。大変なこともありますが、少しでも社会貢献できたらと思っています。コロナ患者の受け入れを決めた社長と取締役のお2人には感謝しています。

石田さん 感謝の言葉が記された手紙を置いてくださった方が多くいました。「気持ちよく療養できました」



「元気をもらえました」という言葉が書かれており、とても嬉しかったことを覚えていきます。持つて帰ることはできないため、ガラス越しに写真を撮ってプリントアウトし、看護師の皆さんを含めたホテルスタッフ全体に共有していました。こうした言葉が糧となり、私たちは辛い時期を乗り越えることができましたのです。

スタッフへのメッセージ

石田さん 療養施設として開放していますが、このまま事態が落ち着けば、いずれは通常のホテルに戻ります。いつ戻るのがわからない状況です。仕事をする警備員や清掃員の方々は不安な気持ちもあるかと思いますが、

Topics

新車を導入しました!



16tラフター GR160N-4



16tラフター GR160N-4



25tラフター GR250N-4



25tラフター GR250N-4

れたみなさんには感謝の気持ちです。みんなでの危機を乗り越えていきましょう!



その中でも一生懸命取り組んでいること、この経験は必ずホテル業務にも活かすことができるでしょう。世間の中には、私たちのように感染者へ部屋を提供することを快く思わない人がいるかもしれません。そのような認識がなくなり、この取り組みの意義が多くの人々に伝わってほしいと思います。

野澤さん 受け入れという通常の業務ではない仕事は、決して楽なことではなく、戸惑うこともあると思います。防護服を着て対応するスタッフ、暑いときも寒いときも警備をしてくれるスタッフ、皆さん一人ひとりのおかげで成り立っています。この大変な経験乗り越えたら、他のホテルとは違った魅力的なホテルになると確信しています!

高田さん 今全国的にも感染者が落ち着いているので少し安心してはいますが、第6波が来ないとも限りません。そのときに備えて、迅速に対応できる準備を整えてください。そして入所者の方々が、「ホテルに入れて良かった」と思ってもらえるように頑張ります。オミクロン株・デルタ株の受け入れ要請に対し、他の施設が尻込みをする中、快く対応してく